

平成21年度第2回函館市戸井地域審議会議事録（要点）

1	日 時	平成21年11月2日（月）14時00分～15時50分																																																																													
2	場 所	函館市戸井支所 第3会議室																																																																													
3	出席者	<table border="0"> <tr> <td>尾関 忠義 委員</td> <td>宇美健次郎 委員</td> <td>尾本 美恵 委員</td> </tr> <tr> <td>館山 澄子 委員</td> <td>佐藤 孝昌 委員</td> <td>古田 清一 委員</td> </tr> <tr> <td>森 祐 委員</td> <td>植野 範子 委員</td> <td>山路 榮 委員</td> </tr> <tr> <td>松田 勇一 委員</td> <td>宇美 兼松 委員</td> <td>宇美千穂子 委員</td> </tr> <tr> <td>佐々木竜矢 委員</td> <td>室谷 久恵 委員</td> <td></td> </tr> </table> <p>事務局</p> <table border="0"> <tr> <td>戸井支所長</td> <td>伊藤 修</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸井支所地域振興課長</td> <td>佐藤 博史</td> <td>主査 布施 司</td> </tr> <tr> <td>戸井支所地域振興課主査</td> <td>井戸 浩嗣</td> <td>主任主事 砂子 歩美</td> </tr> <tr> <td>戸井支所市民福祉課長</td> <td>林 秋男</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸井支所産業建設課長</td> <td>山下 勝</td> <td>主査 吉田 孝道</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>主査 畑野 富和</td> </tr> <tr> <td>戸井教育事務所長</td> <td>八木多佳夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画部参事</td> <td>藤田 秀樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画部計画推進室長</td> <td>佐藤 洋一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画部計画推進室地域振興課長</td> <td>佐藤 直孝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画部計画推進室地域振興課主査</td> <td>進藤 昭彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画部計画推進室地域振興課主事</td> <td>小玉 亮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道局管理部次長</td> <td>中谷 宏平</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道局管理部料金課長</td> <td>吉岡 司</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道局事業部東部営業所長</td> <td>岩船 秋男</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水道局管理部料金課調定係主任</td> <td>竹村美智代</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育委員会生涯学習部次長</td> <td>小林 良一</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育委員会学校教育部保健給食課主査</td> <td>水上 裕行</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育委員会学校教育部保健給食課主査</td> <td>出村美知子</td> <td></td> </tr> </table>						尾関 忠義 委員	宇美健次郎 委員	尾本 美恵 委員	館山 澄子 委員	佐藤 孝昌 委員	古田 清一 委員	森 祐 委員	植野 範子 委員	山路 榮 委員	松田 勇一 委員	宇美 兼松 委員	宇美千穂子 委員	佐々木竜矢 委員	室谷 久恵 委員		戸井支所長	伊藤 修		戸井支所地域振興課長	佐藤 博史	主査 布施 司	戸井支所地域振興課主査	井戸 浩嗣	主任主事 砂子 歩美	戸井支所市民福祉課長	林 秋男		戸井支所産業建設課長	山下 勝	主査 吉田 孝道			主査 畑野 富和	戸井教育事務所長	八木多佳夫		企画部参事	藤田 秀樹		企画部計画推進室長	佐藤 洋一		企画部計画推進室地域振興課長	佐藤 直孝		企画部計画推進室地域振興課主査	進藤 昭彦		企画部計画推進室地域振興課主事	小玉 亮		水道局管理部次長	中谷 宏平		水道局管理部料金課長	吉岡 司		水道局事業部東部営業所長	岩船 秋男		水道局管理部料金課調定係主任	竹村美智代		教育委員会生涯学習部次長	小林 良一		教育委員会学校教育部保健給食課主査	水上 裕行		教育委員会学校教育部保健給食課主査	出村美知子	
尾関 忠義 委員	宇美健次郎 委員	尾本 美恵 委員																																																																													
館山 澄子 委員	佐藤 孝昌 委員	古田 清一 委員																																																																													
森 祐 委員	植野 範子 委員	山路 榮 委員																																																																													
松田 勇一 委員	宇美 兼松 委員	宇美千穂子 委員																																																																													
佐々木竜矢 委員	室谷 久恵 委員																																																																														
戸井支所長	伊藤 修																																																																														
戸井支所地域振興課長	佐藤 博史	主査 布施 司																																																																													
戸井支所地域振興課主査	井戸 浩嗣	主任主事 砂子 歩美																																																																													
戸井支所市民福祉課長	林 秋男																																																																														
戸井支所産業建設課長	山下 勝	主査 吉田 孝道																																																																													
		主査 畑野 富和																																																																													
戸井教育事務所長	八木多佳夫																																																																														
企画部参事	藤田 秀樹																																																																														
企画部計画推進室長	佐藤 洋一																																																																														
企画部計画推進室地域振興課長	佐藤 直孝																																																																														
企画部計画推進室地域振興課主査	進藤 昭彦																																																																														
企画部計画推進室地域振興課主事	小玉 亮																																																																														
水道局管理部次長	中谷 宏平																																																																														
水道局管理部料金課長	吉岡 司																																																																														
水道局事業部東部営業所長	岩船 秋男																																																																														
水道局管理部料金課調定係主任	竹村美智代																																																																														
教育委員会生涯学習部次長	小林 良一																																																																														
教育委員会学校教育部保健給食課主査	水上 裕行																																																																														
教育委員会学校教育部保健給食課主査	出村美知子																																																																														
4	その他	傍聴者	なし	・	報道機関	北海道新聞 函館新聞																																																																									

5 議 事 佐藤課長	<p>本日は、ご多用のところご出席をいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から平成21年度第2回函館市戸井地域審議会を開催いたします。</p>
尾関会長挨拶	<p>それでは、会議開催にあたり尾関会長からご挨拶申し上げます。 (挨拶要点)</p> <p>皆さん、こんにちは。21年度第2回の函館市戸井地域審議会でございますが、地域におかれましては、一応コンブの出漁も終わりました、何かと一安心とは言いながら、今度は製造出荷ということで、やはり忙しいこととは存じますが、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p>
佐藤課長	<p>本日の議題は、諸般の報告、22年度地域別事業の計画案ならびに地域振興に関する意見交換が主な内容となっておりますので、皆さんのご意見を拝聴しながら進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、本庁からは、企画部の佐藤計画推進室長をはじめ、担当の方々や支所の担当課長も出席しておりますので、会議の中で色々な説明やら質問に対する答えを頂きながら、アドバイスを頂くこともあろうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
伊藤支所長挨拶	<p>以上、簡単ではありますが、開会にあたりまして挨拶といたします。 会長、どうもありがとうございました。</p>
伊藤支所長挨拶	<p>続きまして、伊藤支所長からご挨拶をいただきます。 (挨拶要点)</p>
伊藤支所長挨拶	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>平成21年度第2回戸井地域審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>皆様におかれましては、天然コンブ漁の製品化も終盤を迎え、そして、養殖コンブもまた、来年の準備作業が始まり、ますますこの時期、お忙しい中、ご出席を頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃から地域振興をはじめ、市政運営各般にわたってご理解・ご協力を賜っておりますことに対し心からお礼申し上げます。</p> <p>夏以降、猛威を振るっております新型インフルエンザは、全市的に拡大し、この戸井地域でも一部の学校において学級閉鎖に至っており、教育活動や生涯学習事業に支障を来している状況にあります。</p> <p>そして、昨年から引き続く経済情勢には、一向に好転の兆しが見えず、雇用情勢も含めて厳しい状況に変わりはなく、政権交代による国の動静が注目されるところでございます。</p> <p>一方、地域の基幹産業であります漁業の現況は、回遊率が当初心配されて</p>

佐藤課長	<p>おりました、サケの定置網漁が予想に反して期待できる漁模様になるというふうに従っておりますけれども、マグロ漁については、昨年に引き続きあまり思わしくない状況が続いているということでありまして、地域経済に与える影響が危惧されるところでございます。</p>
尾関会長	<p>本日の地域審議会は、来年度予算に関する事業計画（案）などについてご審議を頂くこととなりますので、地域の振興を図る上での貴重なご意見、そしてご提言を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、これより会議に入りますが、進行につきましては、地域審議会の設置に関する規則第8条第2項の定めにより、会長が議長を努めることになってございますので、以後、尾関会長が議長で進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>会長、よろしくお願ひいたします</p> <p>それでは、会議を始めます。</p>
布施主査 尾関会長	<p>本日は、濱島委員が所用のため欠席をしておりますので、出席委員は14名であります。</p> <p>私事でございますが、前回の会議では、当日になりまして急に用事ができまして、欠席しましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>地域審議会に設置に関する規則第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、早速会議を始めます。</p> <p>お配りの会議次第に沿って進めてまいりたいと考えますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>早速、議事に入ります。まず始めに、議題の1番目「前回の意見等の集約結果と取組み状況について」の説明を求めます。</p> <p>[別紙1により説明する。]</p>
佐藤課長	<p>説明が終わりました。これより質疑、ご意見を頂きたいと思ひます。いかがでございましょうか。何かございませんでしょうか。</p> <p>1の2の資料については、事務局、答えはまだもらってないということですが。</p>
尾関会長	<p>資料1の2の意見等は、その場である程度、答弁しまして意見・要望については、函館市の都市経営会議、幹部会議ですけれども、そちらの方へ声が届くように企画部を通じて提出しております。</p> <p>ということで、答えはまだ出てないようです。</p> <p>資料1の1の河の問題でございますけれども、この議題を打合せる時に見まして、小安地区の川をちょっと見てみました。一番下に土砂の除去ということになりますと組合との打合せが必要で、非常に難しい問題があるという</p>

植野委員	<p>ことでございますけれども、少なくとも見た限りでは、草木の木でなくて草の方が非常に小安地区の小さい川は、ちょうどバイパスから海までの間を見ただけなんですけれども、ものすごく繁茂が激しい。去年あたりもそうだったのかなと思うくらいでございます。打合せの時は、泥についてはそういう状況ですという報告を受けましたけれども、草については濁水が出るというような問題が起きないんでないかなと思いますけれども、皆さんの地区はどうですか。</p>
尾関会長	<p>私もこの件で、原木の川とか熊別川ずっと見たんですけれども、結構木が生えてますね。原木川は特にそうですよ、温泉に行く所の道路、橋から見ると本当、川がちょろちょろであと殆ど土か木が生い茂ってるって感じに見えましたね、あれ大水出たら大変だなと思ってきたんですけれども。</p>
佐藤課長	<p>事務局へ聞きますけれども、この件についても報告はしてるけれども、まだ結果は出てないということですか。</p> <p>2級河川の関係はいいんだろうけれども、市の所管する川は、まだ答えは出てないんですね。</p>
山下課長	<p>1の1の資料で示してありますとおり、所管が北海道函館土木現業所ということで、現場確認して対応していきたいという回答でございます。ただ今、植野委員からも言われたように木がひどいということであれば、当然支所の担当課が現場を見て対応していきたいということです。</p>
尾関会長	<p>回答にもありますように、原木川、熊別川、戸井川については2級河川ということで、函館土木現業所の所管であります。この度現状を写真撮りしまして、21年度中に伐採しなければならぬ状況なのか、来年度の予算で伐採するのか、現在3本の川については、要望をしているところであります。それから、普通河川であります市の管理する川については、樹木がなくて草が繁っている状況であります。この草の状況については、自然的な環境から樹木と違って伐採する必要はないという観点でみておりますので、2級河川の樹木とは区別して検討しているところでございます。以上です。</p>
尾関会長	<p>ありがとうございます。ということだそうでございます。</p> <p>この2点について、皆さんご意見ございませんでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。</p> <p>(無しとの声)</p>
布施主査	<p>意見がないようでございますので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題の2、「平成22年度地域別事業計画(案)について」説明を求めます。</p> <p>[別紙2により説明する。]</p>
尾関会長	<p>説明が終わりました。ちなみにですね、支所長へお願いがございます。政権が代わりまして、漁業普及の経費を削除するというか、減ずるというか、</p>

伊藤支所長	<p>そういう話が所信表明に出てきましたが、取りあえず地方行政には何か連絡があるものですか。</p> <p>ただ今、政権交代による地域の事業等についての影響ということでございますけれども、具体的な内容は、まだ自治体の方には来ていない部分が多い訳でありまして、これから来年度予算について編成していく訳ですけれども、それまでに具体的な内容が出てくるのかどうかはまだ承知していない状況でありますので、今会長が言うような、今後どのような形になるのか事業の見通しも含めて今後の状況、推移を見て、ということになるかと思いません。以上でございます。</p>
尾関会長	<p>支所長は、このように説明されました。</p> <p>事務局から説明されました、22年度の地域別事業計画（案）について、皆様からご意見を頂きたいと思えます。</p>
佐藤課長 尾関会長	<p>[補足、参考資料を説明する。]</p> <p>そういうことでございます。それでは皆さん方のご意見を伺います。</p> <p>ただ今の説明では、公募しても応募する人がいないということは簡単にいうと新築する必要がないんでないか、かつ入居率は全体的に見て90%を割っているという状態では、尚のことというようなふうに聞き取れるんでございますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>何かございませんか。</p> <p>先ほど住み替えという文言もありましたけれども、そういう希望もないんですか。</p>
佐藤課長	<p>これは旧戸井町時代から古くなった住宅、小安団地もかなり老朽化が進んでおり、合併前からこの部分については、入居してる方を新しい団地への考えもございましたけれども、実際新しい住宅に入ると家賃が高くなるものですから現在いる住宅に住み替えしてないと、団地が空の状態になったら将来毀すということで、そういうことで現在進んでおります。</p>
尾関会長	<p>そういうことでございまして、住み替えもなかなか家賃などの関係で希望者がいないようでございます。</p> <p>もしご意見がなければ次に移りたいと思えますが、よろしゅうございませうか。</p>
尾関会長	<p>(無しとの声)</p> <p>では次に移りたいと思えます。</p> <p>進行上、都合がございまして、5分間休憩したいと思います。</p> <p>準備ができましたようでございますので、休憩前に引き続き会議を再開します。</p>
尾関会長	<p>議題の3番目「地域振興全般に関する意見交換について」を議題といたし</p>

<p>函館市水道局 吉岡課長 尾関会長</p>	<p>ます。 まず始めに「東部営業所管内旧町村地区の家庭用以外の水道料金の統一について」函館市水道局から説明をお願いします。 水道局管理部料金課の吉岡です。よろしくお願いします。 [別紙3により説明する。] 説明が終わりました。もう一度確認しますけれども、強い反対もない代わりに直ちに統一するように進行する状態にある訳ですね。</p>
<p>吉岡課長 尾関会長</p>	<p>はい、そうです。 そういうことだそうでございます。いかがでございましょうか。</p>
<p>古田委員 尾関会長</p>	<p>特に古田委員さんは、負担が多くなる方ですか、少なくなる方ですか。 結構上がるようです。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>そうですか。そうすると審議会としては、特別統一条例に反対する問題もないということでございますね。こんなところでよろしゅうございますか。何か別に意見があればお願いいたします。 (無しとの声)</p>
<p>尾関会長</p>	<p>では、無いようでございますので、「東部営業所管内旧町村地区の家庭用以外の水道料金の統一について」の説明を終わります。 5分ほど休憩します。 休憩前に引き続き会議を再開します。</p>
<p>函館市教育委員会 小林次長</p>	<p>次に2番目の「椴法華中学校学校給食共同調理場について」と3番目の「東部地域の学校給食費および給食回数の統一について」函館市教育委員会から説明を求めます。 教育委員会生涯学習部次長の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 [別紙4により説明する。]</p>
<p>尾関会長</p>	<p>質問いたします。議長が質問するのもおかしい話しですけど、今の説明の中で183回と186回と違ってアバウトな数字が出てますけど、それは午前授業以外の全登校日の数字と同じなんですか。</p>
<p>小林次長</p>	<p>すみません、ちょっと説明不足で。まず193回というのはですね、年間でこういう回数をお出ししますという回数でございます。そして各学校では、例えば卒業式だとか修学旅行だとかにお菓子だとかおやつをお出しをしている、そういったものを除いて実際に学校給食になっているのが183回から186回でございまして、実はこれは各学校によって差があるものですから、ある学校が183回で、ある学校が186回と、そういうことから書きで表示をさせていただいてるところでございます。以上でございます。</p>
<p>尾関会長</p>	<p>説明が終わりました。もう1つ、ちなみに。戸井地区はPTAで集金して</p>

小林次長	<p>たけども、自動振込みにしたいと言うけども、よく話題になるのが最近、給食費の未払いが随分あるという話しでしたけども、函館市はどうなんですか。</p> <p>戸井地区につきましては、これまでPTAの皆様の多大なご努力によりまして100%の徴収と、いうことでした。</p> <p>なお、今現在函館市全体では、99.29%ということになってございます。私どもとすればですね、ゆうちょ銀行からの自動振込みとなりますけども、今後とも例えば、その各家庭にお便りを出して納入をお願いしたい、或いは滞納されてる方についてはですね、お手紙やお電話で催促をさせて頂きたいというふうに考えてございますし、また、経済的な面で、なかなか未納となっているご家庭につきましては、例えば就学援助といったそういう制度についてもご紹介をしながら、今後ともですね、各学校と連携を図って納付率の向上に努めてまいりたいと考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p>
尾関会長 森 委員	<p>何か質問がありましたら受けたいと思います。いかがでございますか。</p> <p>今の説明でちょっと聞き漏らしたんですけれども、旧合併地域の給食費というのは、各調理場ごとに様々に設定されてきた訳でそれを統一するという中で、右から2番目の現在の函館の給食費に統一するということとなりますね。そこで1食当たりの給食費はどのくらいの単価になるのか、その辺が1点と、それから先ほど言われてたとおりの給食回数、1年生と6年生については182回を設定すると、それから2年から5年は185回にするということでございますけれども、旧私共の地域においては、その上の回数を出して、実質、例えば卒業式であれば6年生に対しては、その卒業式のお祝いに紅白の饅頭、確かずっと出てきてるんですよ。それもやっぱり給食費の回数の上乗せの不足分の設定した回数から不足分の金額で饅頭を提供してきた。それが今度、なくなるということですよ、そういうことなのかどうか。</p>
小林次長	<p>まず、給食費の単価の関係でございますけれども、1食当たりの給食費でございます。まず、小学校でございますが、現行でございますと220円72銭ということになってございます。これが改定案でまいりますと、236円91銭ということになります。それから中学校でございますが、273円57銭が298円17銭ということになります。それから給食回数関係でございますけれども、4地域の方が実は、旧市内よりも多い状況にございます。この辺はですね、学校の校長先生等とですね今後とも協議を進めながらですね、今、いわゆる教育課程の授業時間数というのは校長先生の裁量なんですよ、その中で今、校長先生と色々と協議を進めさせて頂いております。また、ご質問にございました卒業式だとか、或いは修学旅行の時のおやつ的</p>

<p>尾関会長 森 委員</p>	<p>な物についてはですね、今後はですね、廃止させていただいて、あくまでも給食の実回数ということで基本的には考えていただきたいというふうに考えてございます。また、今回ですね、実質的な単価では値上がりになって、そして給食回数も減るといことなものですから、私共といたしましてもですね、運営委員会をはじめ、各学校長、それから教頭先生、それから各PTA、そして地域審議会、そしてこれから各学校それぞれのですねPTAの皆様にはですね、丁寧にご説明をさせていただきたいというふうに考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>よろしゅうございますか。</p>
<p>小林次長</p>	<p>もう1点は今の納入方法なんですよね、先ほどの説明でもあったとおり、私共の地域は毎月PTAのお母さん方が各家庭を回って集めて100%の収納率を維持してきた訳ですよ。時代の流れだから随分、戸井でも漁組にしたらというお話はあったんだけど、それをすることによって滞納、延滞する、そういう部分がないとは限らないと、ですから収納率は100%いなくなってる危険性はあるということで、おそらくその辺は、給食運営委員会の中でずっと先代の意見を継承して今日まで続けて来られたんだろうと。で早くから振込み方式を採っている地域においてはおそらく大なり小なりの未納分が発生していると、現在は函館管内においては99.1%ですか、わずか0.9%だとは言えども金額的に言ったらそれなりの大きな金額になっているんだろうと。どうしてもこの振込み、確かに手をかけないんだから本人が直接郵便局へ行って振込んで頂く訳だから、その辺では受ける側とすれば受けやすいんだろうけれども、そういう収納率が落ちていくという危険性が充分考えられる訳だけでも、その辺は多少どの辺までなら許せる範囲だというふうに設定してるのか、その辺。</p>
<p>森 委員</p>	<p>本当にですね、戸井地区につきましては、これまでPTAの皆様にはですね、本当に多大なご努力を頂きまして100%保つことが出来たということは、本当に感謝の意に堪えない訳でございますけれども、私共市内全体では、99.29%ということになってございます。先ほど申し上げたんでございますけれども、基本的にはやはり100%納入ということはですね、当然前提としてございまして、そのためにもですね、例えば全家庭にお便りを出す、或いはその滞納されてる方についてはですね、手紙だとか電話で催促をさせていただくと、いうことであくまでもですね、食費につきましては、100%の納入ということをしてですね、目指してまいりたいということで考えてございますので、よろしくご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>今日ね、報道関係者もいるんで、報道関係者おもしろ半分には報道してしま</p>

	<p>えばさ、やっぱり滞納してる人もいるんだら俺も払わねで、っていう人も出てくる可能性もあるんでね、あとこれ以上突っ込んだお話は遠慮させていただきたいと思います。関係者もその辺を充分承知の上で、ある程度の部分は大目に見てあまり詳しく報道しないようお願いしたいと思います。</p>
尾関会長	<p>私、さっきから、会議の冒頭から色んな話・説明を受けて、皆さんの意見を拝聴したりしてるんですけども、色んな仕事の中に、対費用効果という言葉が色々出てきました。</p>
	<p>今の説明聞いたら、対費用効果ということがこの中で考えられているのか、100%が仮に99.1%としたらどうも矛盾しているようなところもあるんですけども、皆さんがそれでいいということできたんでしょけど、森委員がおっしゃる、ちょっと心配なところもあると思います。</p>
宇美委員	<p>他にご意見ございませんか。</p> <p>次長さんの関係じゃないのかなあとは思いますが、今の戸井の調理場あります。この施設はどういう方向になっていきますか。4月1日からもう使われませんよね。現在の建物、これが私にすればすごく問題なんです。空き家がでてしまう。空き施設が出来てしまう、その辺のところわかりましたらお願いしたいと思います。</p>
小林次長	<p>基本的にはですね、現施設につきましては機能自体が廃止されることとなります。</p> <p>私も教育委員会としましてはですね、解体ということもですね、予算要求の方確保してまいりたいと考えておるところでございます。以上でございます。</p>
尾関会長	<p>解体だそうでございます。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(無しとの声)</p>
尾関会長	<p>ないようですので、4番目の「国際水産・海洋都市構想の取組について」ですが、場所の設定が少しございますので、10分程休憩したいと思います。ご理解願います。</p>
尾関会長 企画部 藤田参事	<p>休憩前に引き続き会議を再開します。お願いします。</p> <p>函館市企画部で水産・海洋都市構想を担当しております藤田と申します。 [スライドおよびパンフレットにより説明する。]</p>
尾関会長	<p>初めて審議会では、こういう説明を受けた訳ですけども、一番印象に残ったのは、全道で2番目で水揚げが212億円というのが一番印象に残りました。水産系に携わる人は、やっぱり今現在がもう少しこう・(聴取不能)・。</p>
尾関会長	<p>ただ今説明が終わりました。何かお聞きしたいことがあれば、どうぞ。組合長いかがですか。</p>

森 委員	<p>大変大きな市の将来を担う大きな構想なんだけれども、我々一次産業にすれば、その成果が早く出てすぐ我々の産業に一部採用されて水揚げが上がるというのが、夢を見ている訳ですよ。なかなかそこまで今のところ行ってないというのが、立派な形で構想が開くのかな、というような心配。具体的に言うとガゴメが一番手っ取り早く、色んな商品開発してるんだけど、なかなか今一全国的に売れるような商品になっていない。もう一つ、色んな産業の中で、漁業に使う機器等についても非常に開発されて、ただ高くてね、なかなか今の漁業の状況からして、設備投資するというのが大変厳しい問題、それと合わせて後継者の問題となると更に頭がいたい。だからいかに安価で立派な機器が出来て、新しい漁業に着手できるのかなと、そういう将来を夢見てるんですけどもいつ頃になるのかな。</p>
藤田参事	<p>今のお話しですけども、これ6年間で取りあえずある程度の基盤は作られつつあるだろうと思ってます。</p> <p>先ほどの総合研究センターもですね、平成25年度、これからまだ4年かかるんですけども来年基本計画をし、その後実施設計、そして建築2年という考えでいます。ですから実際に供用開始になるのが平成26年度、そこに至ることによって当然、北大とかですね、この機関も入ってもらって先端的な研究をしてもらう。だけれども、そうなる前にですね、地元の方にも課題をお聞きして、そのための解決に向けた研究をすとか、・(聴取不能)・色々今、事前の話し合いもなされています。そういったことで、いくつかの研究機関が一緒になって情報共有すとか、共同研究することによって、研究というのは加速度的に展開されるだろうと思ってます。そういったものも我々としては、期待してますし、ガゴメにつきましては、実は、大学の先生がいい成分があると、その成分の抽出だけではなく、やはり原材料安定供給とかですね、陸上養殖とかですね、そういった色んな角度での研究の成果、そういったものも、各漁協さんにも協力をお願いして取り組んでもらったりその成果も現れている。そういった形で今、新しい海草、今は雑海草で使われないものが今度は有効なですね、そういった展開、そういったものも図って行きたいなと思ってますし、それがもっともっと、例えば薬とかですね、そういったものに使われると、いうふうになると原料の確保だけでも相当な量が必要というさまざまな分野での広がりが見込めるんですね。とにかく一次産業、水産業に対しては、そういった安定供給、安定確保とか、・(聴取不能)・もっともっと話し合いも色々な場面でですね、お伺いさせていただきながら進めたいということで・(聴取不能)・。</p>
尾関会長 館山委員	<p>他に聞きたいことございませんか。</p> <p>今、ガゴメのことが出てきましたけれども・(聴取不能)・。</p>

藤田参事	<p>みんなが目に見えるような，こんなのが出来るんだって，そうするとやっぱりみんな，ガゴメでこういうものが出来るんだって，分かるように，そういう説明も出来たらいいなと思います。</p> <p>今回の国際水産・海洋都市構想の説明もですね，6年経ってやっとということですね，ほんとお叱りを受ける部分ではあるんですね，ですからそういったものもどんどんどん成果ということで広く発信をして行きたいなというふうに思います。ちなみにこの国際水産・海洋都市構想の29ページ以降がですね，私今パワーポイントで説明した部分をもっと詳しく書いているんですね。その中で例えば，ガゴメの部分というのはですね，35ページ36ページにこういった形で記載もしておりますので，後ほどご覧いただくということをお願いできればなと思います。あと研究成果，今おっしゃって頂いたように色んな形でですね，どんどんどんアピールしていきたいと思います。</p>
尾関会長	<p>他にございませんか。</p> <p>(無しとの声)</p>
尾関会長	<p>質問がないようなので「国際水産・海洋都市構想の取組について」を終了します。ここで5分ほど休憩します。</p>
尾関会長	<p>休憩前に引き続き会議を再開します。</p>
	<p>最後に5番目の「その他」に移ります。地域振興に関して普段感じられていらっしゃることがございましたら，今後の地域にプラスとなるようなご意見を頂きたいと思います。何かございませんでしょうか。</p>
	<p>ございませんか。</p> <p>(無しとの声)</p>
尾関会長	<p>皆様から頂いた意見等については，とりまとめの上，後日報告したいと思います。</p>
尾関会長	<p>以上で本日の日程はすべて終了しました。</p>
	<p>次回の開催は，来年の3月を予定しております。議題内容については，正副会長に一任願います。</p>
	<p>これもちまして本日の会議を終了します。大変ありがとうございました。</p>